

平成28年度 自己評価書

学校名

北海道厚真高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的知識や技能を身に付けるための「わかる授業」により、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育成し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
- (2) 公共の精神や社会規範及び自他の生命を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。
- (3) 自己の個性や適性を理解し、将来像を描き、自ら未来を切り拓く生徒を育てる。
- (4) 特別活動や部活動を通して、よりよい人間関係を形成し、心豊かにたくましく活動する生徒を育てる。

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
学習指導	基礎的・基本的知識や技能を身に付け、基礎学力の充実と向上を目指す。	(指標) 生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、「朝学習」の取組等に係る肯定的な回答が70%以上となることを目指す。 (生徒の肯定的な回答(そう思う・おおむねそう思う)が70%以上を評価A、50%以上を評価B、50%未満を評価Cとする)	A	A	・「朝学習」については、生徒の肯定的な回答が78%であり、次年度は80%以上を目標とし、引き続き内容・取組の充実を図る。
		(指標) 生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、家庭学習に関して「取り組んでいる」「概ね取り組んでいる」等の肯定的な回答が60%となることを目標とする。 (生徒の肯定的な回答(そう思う・おおむねそう思う)が60%以上を評価A、40%以上を評価B、40%未満を評価Cとする)	B	C	・家庭学習については、各教科における課題の工夫や週末課題等の実施に取り組む、次年度は生徒の肯定的な回答が60%以上を目指す。
生徒指導	公共の精神や社会規範を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。 日常指導や予防的活動を通して生徒の規範意識の育成を図り、共通認識に基づく連携のとれた指導体制を確立する。	(指標) 生徒の朝の遅刻について、平成27年度遅刻総数より10%以上の減少を目指す。 (遅刻総数10%以上の減少を評価A、10%未満の減少を評価B、増加を評価Cとする)	C	B	・遅刻については、今年度の結果を踏まえ、生徒指導部を中心に全教員で連携しながら指導の徹底を図る。また、家庭訪問等、家庭との連携についても積極的に取り組む。
		(指標) いじめアンケート等において、「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」について、「そう思う」と回答する生徒の割合を100%とする。 (回答の割合が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満は評価Cとする)	B	A	・いじめアンケートについては、「そう思う」との回答が77%であり、次年度も100%を目標に各HRや全校集会時における指導、生徒会の自主的な活動等の充実を図る。
進路指導	3年間を見通した各学年の指導計画を立案し、学年団との協力体制に基づいた進路指導を行う。	(指標) 就職を希望する生徒の進路実現について、年度内の内定率を100%とする。 (内定率が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満を評価Cとする)	A	A	・就職希望者の内定率については、昨年度から100%となっており、次年度も引き続き、進路指導部・学年の連携のもと、進路指導・キャリア教育の充実を図る。
		(指標) 生徒の資格・検定取得等の取組について、受験率100%を目指す。 (受験率が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満を評価Cとする)	B	B	・生徒の受験率が82%であり、就職指導及び各教科指導と資格検定・取得指導を連携させながら、次年度も100%を目指し取り組む。

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- ・学習指導について、生徒への強い意識付けを念頭におきながら、各教科における日常の課題の工夫や週末課題等の実施に取り組む、家庭学習の習慣化を目指す。
- ・生徒指導について、家庭との連携に努め、生徒指導部を中心に全教員による指導の徹底を図り、遅刻総数の減少を目指す。